

地域再生計画（地方創生道整備交付金）事後評価調書

都道府県名	長野県	事業実施主体	長野県、根羽村	地域再生計画名	地域資源を活用した村づくり
計画期間	平成27年～令和元年	評価責任者	長野県 根羽村役場 振興課長 鈴木伸弥		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
			基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	森林整備の推進	5,500㎡	H26	6,000㎡	H29	3,475㎡	6,500㎡	R1	3,670㎡	×	村道及び林道整備により、森林整備対象箇所まで容易に行けるようになったが、森林作業員等の減少により目標値まで実績を上げる事ができなかった。 積極的な地域材アピールにより大幅な効果が見られ、目標が達成できた。 木育関連(木質バイオマス等)の強化により未利用材の利用が増加し、目標が達成できた。 村道及び林道整備の効果により、安全に通行できるようになったが、台風等の自然災害や豚熱等の影響もあり、屋外イベントを中心にイベント開催が困難な状況になり目標を大幅に下回った。
	指標 2	地域材利用住宅の建設推進	140戸	H26	150戸	H29	160戸	165戸	R1	180戸	○	
	指標 3	森林資源の循環利用	0㎡/年	H26	280㎡/年	H29	160㎡/年	300㎡/年	R1	300㎡	○	
	指標 4	交流人口の増による地域産業の活性化推進	210,000人	H26	215,000人	H29	100,000人	220,000人	R1	87,000人	×	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1											
	指標 2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度(H29)	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	村道整備事業		619m	508m	508m	今回の道路網整備により、住民の安全が確保され、安心・安全な道路となった。また、村を訪れる人たちも安心して利用できるようになった。						
	林道整備事業		4,859m	1,565m	4,547m	林道の整備が進んだ事で、森林資源がある場所まで容易に行く事ができるようになった。また、木材の搬出時も低コストで運搬できるようになった。						
その他の事業	根羽すぎ柱提供事業		森林整備の推進と併せて地域材利用住宅の建設推進を図る。			根羽すぎを広くPRしていく事を目的として、毎年10件以上の物件へ木材を提供を行っている。引き続き、広くPR活動を進めていきたい。						
	森林の里親制度による企業と連携した森林づくり推進事業		一般企業との間で「森林の里親制度」を締結し、資金協力をいただき、森林整備を実施する。			企業と連携した森林づくりを積極的に取り組みを行っており、そのひとつとして、社員の方との交流の中で、森林の大切さや環境保全に対する意識向上など、村内での体験を通して理解を深めてもらえる様な取り組みを進めてきた。これからも、森林や環境の大切さを伝えていけるような取り組みにしていきたい。						
	矢作川上下流協働による地域づくり		下流域自治体や住民、企業、団体等に幅広く協力をいただき、森林整備等の環境保全への取り組み。			当村の取り組みを多くの方に知ってもらう機会として、中下流域で主催されているイベント等への積極的な参加をしてきた。上流域では、どのような取り組みを行っていて、中下流域では、どのように感じているのかなど、人との交流を増やしていきたい。						
計画外で独自に実施した事業	観光対策事業		村内の観光施設に対する整備等を実施			村内の観光施設に案内看板を設置するなど、観光施設のアピールのひとつとして行った。今後も多くの方に訪れてもらえるような工夫をしていきたい。						
	大杉周辺整備事業		月瀬の大杉の周辺整備を実施			樹齢約1,800年の大杉の周辺の整備を行った。特に駐車場を整備したことにより、大型バスの駐車スペースを確保でき、ツアーの一部として組み込まれるなど、観光客の増に繋がった。また、大杉の裏山が手付かずの山となっていたので、景観整備を行い観光地として景観の向上を図った。今後は、四季折々の花が咲く山として、遊歩道等の整備を計画的に整備を進めていく。						
④評価方法	既存の協議会等において最終評価を行った。											
⑤事後評価の公表方法	根羽村公式HPIにて掲載予定											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生道整備推進交付金を活用して村道及び林道の整備を行ってきた。これによる効果としては、安心・安全な道路が整備され、住民生活の安全が確保された。また、森林整備の対象箇所付近まで道が整備されたことにより、効率よく木材の搬出が行えるようになった。しかし、事後評価調書①の数値目標は全てを達成する事ができなかった。森林整備の推進については、森林作業員の減少等により、森林整備を進める事ができなかった。また、交流人口の増による地域産業の活性化推進については、台風等の自然災害や豚熱等の影響もあり、屋外イベントを中心にイベント中止等の影響もあり、目標達成に至らなかった。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画に沿って事業を推進し、目標達成に向けて様々な取り組みを進めてきた。全ての目標を達成する事ができず、上記の総合評価となった。この事実をしっかりと受け止めたうえで、引き続き、森林整備の推進や交流人口の増による地域産業の活性化推進を進めていくと共に、その他の事業や計画外の事業に対してもより一層強化をしていきたい。											